

2. 撫養町川西地区

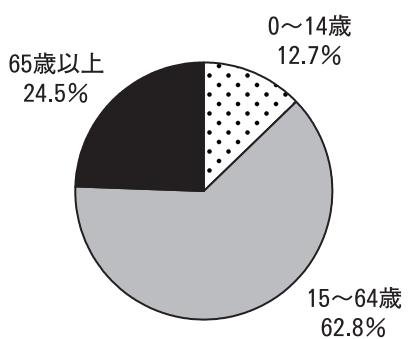
2-1 現状

〈人口〉

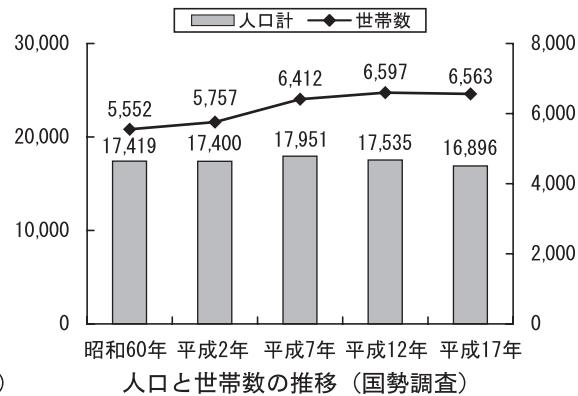
古くから本市の中心であった南浜・斎田地区では、人口減少傾向が続いています。周辺の黒崎、桑島、木津地区ではやや増加傾向にありましたが、近年減少に転じている地区もあります。この地域の人口は平成7年頃から全体として緩やかに減少しており、少子高齢傾向も見られます。

人 口	17,051 人	世 帯 数	7,329 世帯
世帯あたりの人数	2.3 人／世帯		
年齢別人口	年少（0～14歳）	2,165 人	12.7 %
	生産年齢（15～64歳）	10,706 人	62.8 %
	老年（65歳以上）	4,180 人	24.5 %

※世帯数・人口：平成22年3月末現在住民基本台帳登録人口



年齢別人口割合（平成22年3月末住民基本台帳）



人口と世帯数の推移（国勢調査）

〈土地利用・市街地整備・都市施設・公共交通〉

- 本地区は、中心市街地をはじめとして古くから区画整理事業が行われ、幅員の広い都市計画道路に歩道や街路樹が設けられ、都市公園や緑地が計画的に配置された良好な市街地空間が形成されています。
- 大道商店街・本町商店街からJR鳴門駅周辺地区の一帯は商業地として商店が立地し、本市の商業の中心として、中心市街地が形成されています。
- 中心市街地周辺は、市役所をはじめとして行政・文化施設が集積しています。
- 近年、主要幹線道路沿いの商業地に比較的規模の大きい商業施設が立地しています。
- 住宅地は、区画整理事業により、都市基盤が整った良好な住宅地が提供されています。一方、古くから市街地が形成されていた撫養街道沿いやその周辺では、狭い道路沿いに高密度な市街地が形成されています。
- 工業地は、小鳴門海峡沿岸部に製塩業や化学工業、倉庫・流通業などが集積し、本市でも有数の工業・流通の拠点を形成しています。
- うずしおふれあい公園や桑島公園などの都市公園や中央公園などは、市街地周辺の貴重な緑地として、市民の憩いの場となっています。また、撫養川・新池川は「ふるさとの川モデル河川」として、親水空間の整備が進んでいます。
- JR鳴門駅、鳴門郵便局前バス停周辺は、本市の公共交通の発着点となっており、徳島バス、鳴門市営バス、地域バスが運行されています。

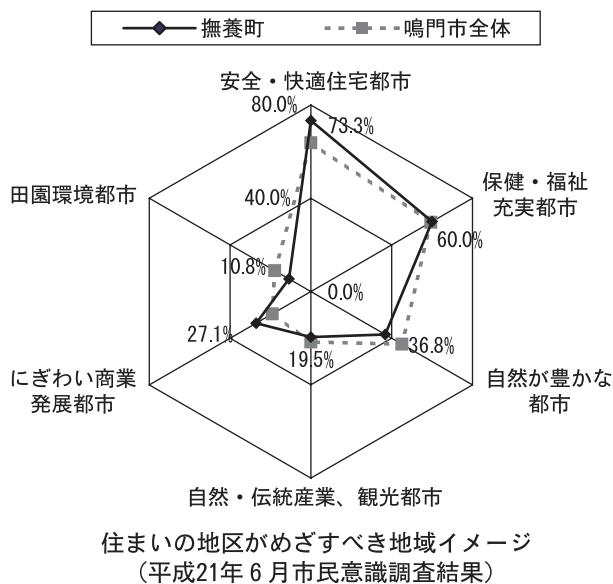
- 高速鳴門バス停留所、鳴門インターチェンジ北口バス停留所は、本市の高速バス発着の拠点として利便施設が整備されています。

〈その他〉

- 中心市街地を中心とする人口集中地区において、公共下水道（汚水）が供用を開始しています。
- この地区には、病院・診療所・福祉施設が集積し、地域医療の拠点として、健康保険鳴門病院があります。

2-2 課題

- ①JR鳴門駅周辺は、周辺整備からかなりの年月が経過し、周辺の道路施設に経年劣化が見られます。また、鳴門駅周辺では、空洞化から空き地が目立つようになっており、公共交通事業者との連携により、土地の有効利用を図りつつ、本市の「まちの顔」としての再整備が必要となっています。
- ②中心商業地区における商業活動は、郊外型量販店の進出とともに衰退傾向が続いている。高齢社会の進展に伴い、徒歩や自転車で移動できる範囲で必要なものがそろう、利便性が高い商店街としての環境整備が必要です。
- ③中心市街地とその周辺では、郊外への人口の流出が見られ、居住人口の減少と高齢化の傾向が見られます。このため、生活利便性の高い地域として住環境の整備を行い、街なか居住を推進するなど、居住人口の増加を図る必要があります。
- ④市街地内には工業に適した大規模な空地が少ないとから、交通利便性の高い国道11号沿いの地域での土地の有効利用が必要です。
- ⑤高齢社会の進展するなか、本市の地域医療の拠点として、今後も健康保険鳴門病院の存続が必要です。
- ⑥利用者数の減少に伴い鉄道・バスなどの公共交通の維持が困難となっていることから、高齢社会に対応した公共交通体系の確立と利用促進が必要です。
- ⑦国道11号沿道の採石場跡の露岩が目立つことから、採石跡地の緑化による自然回復など景観への配慮が必要です。
- ⑧撫養街道沿いの市街地などは、昔ながらの高密度な集落を形成していますが、狭い道路が残されていることから、防災力の強化が必要です。



地区懇談会での主な意見

- ・中心市街地や商店街のにぎわいの回復、人口増加策について
- ・撫養街道や地域の歴史を活かしたまちづくりについて
- ・中山黒崎線の改良について
- ・街路樹の手入れや道路の拡幅、維持補修の必要性について
- ・台風時の雨水対策について
- ・公共交通の充実と利用促進について
- ・旧焼却場の跡地利用と交通利便性を活かした地域活性化の方策について

平成21年度実施地区懇談会

2-3 地域づくりの基本目標

以上をふまえて、地域づくりの基本目標を

- 「まちの顔」である中心市街地を拠点として、にぎわい便利に暮らせるまち
- 市街地内に水と緑の拠点が計画的に配置され、災害に強く快適な住環境のまち
- 市民との協働により環境と共生しつつ鳴門らしい景観をつくるまち

とします。

2-4 基本構想

(1) まちづくりの拠点

①商業・業務拠点（中心市街地）

鳴門駅周辺の中心市街地を商業・業務拠点として位置づけ、個性的で魅力ある商業や業務機能の集積を促進し、徒歩や自転車で移動できる範囲に必要な都市機能が集積したコンパクトな都市づくりを進めます。

②スポーツ・レクリエーションの拠点

都市公園としてのうずしおふれあい公園、木津城山公園、市街地における風致公園としての桑島公園や中央公園などは、市街地内の貴重な緑地として、また市民のスポーツ・レクリエーションの拠点としての整備を進めます。

③水の拠点

撫養港～鳴門ボートレース場周辺は、小鳴門橋など親水空間を演出する水の拠点として美観整備に努めるとともに、鳴門ボートレース場は、市民のレジャーの拠点としての整備を推進します。

「ふるさとの川モデル事業」で整備した撫養川・新池川に隣接した地区は、緑地と親水空間が確保され、市民の憩いの場となっています。今後も、緑の多い歩道と美しい水辺空間を形成するとともに、歩道をジョギングやサイクリングのできるトレーニングロードとして、健康づくりのための親水空間の有効利用を図ります。

④交通の拠点

J R 鳴門駅と鳴門郵便局前バス停留所は、J R や路線バスなどの公共交通の発着拠点となっていることから、今後も交通拠点として利便性の向上を図ります。

高速鳴門バス停留所、鳴門インターチェンジ北口バス停留所は、観光客も利用する広域交通の拠点として、施設の利便性の向上を図ります。

(2)まちづくりの軸

①広域軸

広域軸としては、既に神戸淡路鳴門自動車道は全線開通しており、徳島・高松市間を結ぶ広域幹線道路である国道11号が木津中山地区を南北に縦貫しています。

②地域軸

工業・流通拠点を形成している鳴門ポートレース場周辺地区の一層の生産性向上の観点から、都市計画道路大津橋日出線の整備を推進します。

地区内の円滑な交流を確保するため、都市計画道路齊田撫養港線、南浜撫養駅線、南浜林崎線、南浜大工野線の整備を推進します。

③歴史・文化の軸

南浜から木津にかけては、撫養街道沿いに趣のある建物が残されており、地域の実情に沿った景観づくりに対する検討を進めます。

2-5 土地利用の方針

①商業ゾーン

鉄道やバスなど公共交通機関が整備された生活の利便性の良さや既存の商業・業務機能の集積を活かしながら、今後も本市及び周辺地域を含む広域的な商業・業務地として機能するよう、様々な都市機能の集積を促進します。

②近隣商業ゾーン

この地区は、区画整理事業により都市基盤整備の進んだ地区ですが、空き店舗の増加と居住人口の減少など活力の低下が見られます。このため、住環境の整備を進め、住もう場所としての魅力を高めながら、商業・業務機能と住宅の調和した生活利便性が高くにぎわいのある地区形成を推進します。

③業務ゾーン

市役所や消防署、税務署、文化会館など行政施設や文化施設が集積していることから、今後も行政サービスの拠点としての土地利用を促進することにより、中心市街地の持つ商業・業務機能とあいまって中心市街地の利便性の向上を図ります。

④沿道商業ゾーン

国道28号、都市計画道路南浜黒崎線沿いに良好な沿道形成等に配慮しながら、ロードサイド型の商業・サービス施設の立地を促進します。

⑤住居専用ゾーン

黒崎・桑島地区の中水尾川土地区画整理事業により良好な住宅地が供給されている地区では、未利用箇所が見られることから、今後も低密度で良好な住宅地としての土地の有効利用を図ります。

⑥一般住居ゾーン

木津地区の撫養街道沿道、斎田・桑島地区の一部では、木造住宅が密集した市街地が形成されているため、セットバックによる細街路の拡幅や行き止まりの解消などを進め、住環境の改善と災害時の安全性の確保を図ります。

⑦工業ゾーン

鳴門ポートレース場周辺は工場、倉庫等が集積し、工業・流通の拠点となっており、今後も機能性・利便性に配慮した整備に努めます。また、一部で住宅系・商業系の土地利用との混在が見られることから、土地利用動向をふまえ、既存住宅の建て替え等に合わせて適切な土地利用を図ります。

⑧都市緑地ゾーン

うずしおふれあい公園、木津城山公園、桑島公園や中央公園などは、市街地とその周辺における貴重な緑地の維持に努めるとともに、市民の憩いの場として有効利用を図ります。

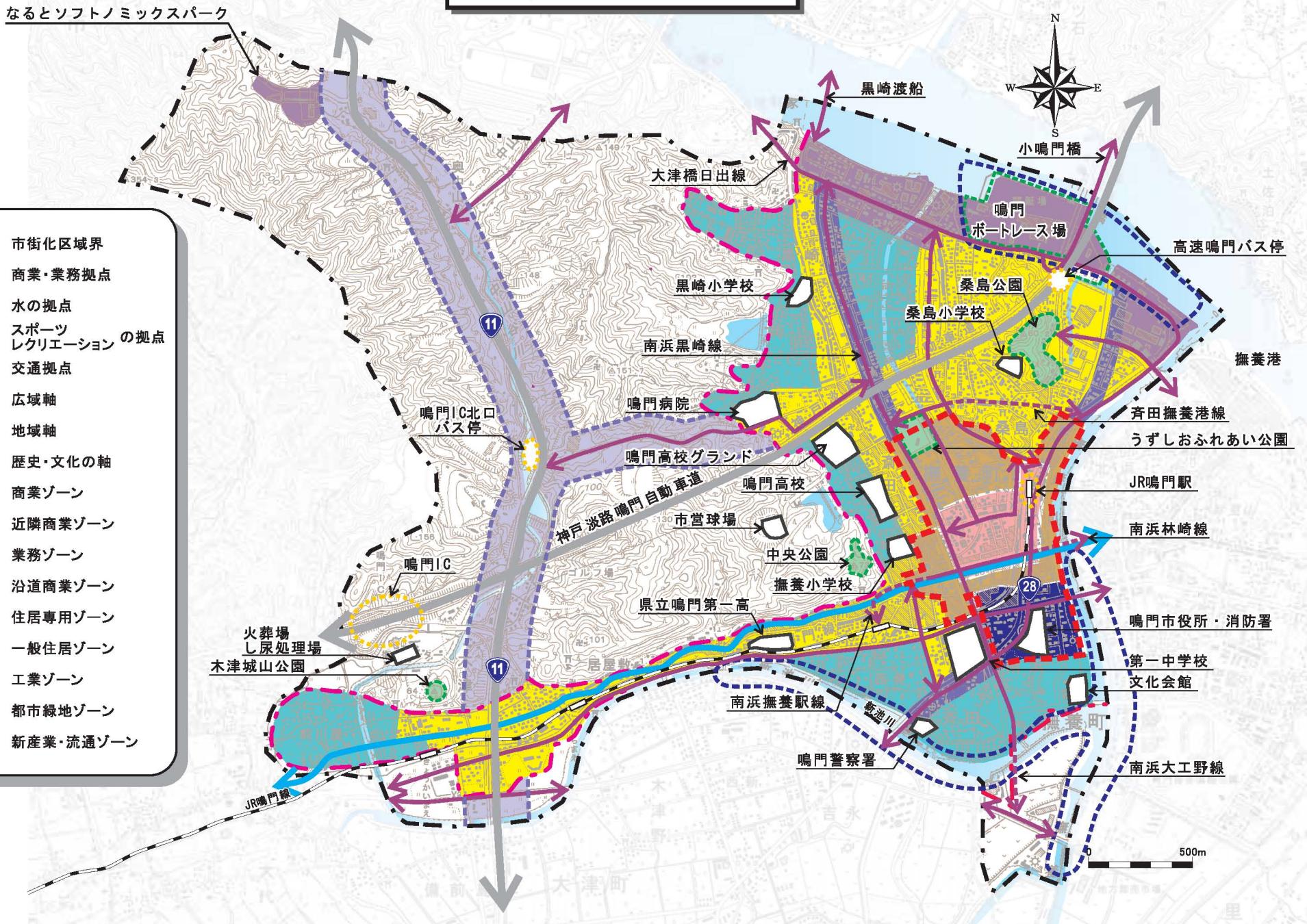
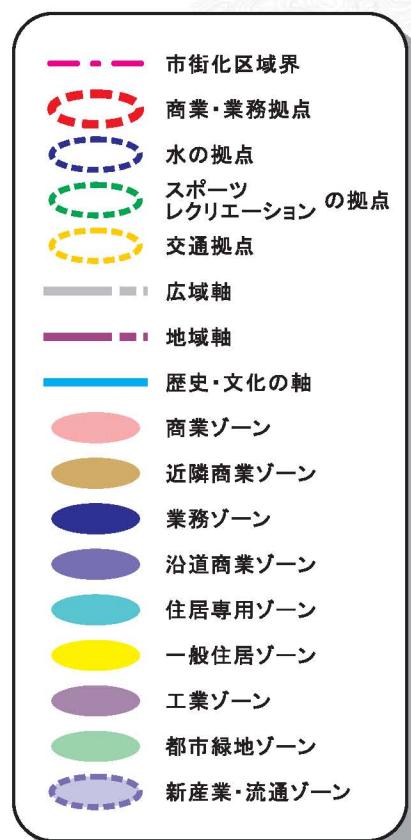
⑨新産業・流通ゾーン

国道11号沿道地区を新産業・流通ゾーンと位置づけ、既存の工業団地と連携しつつ、交通利便性を活かした新しい産業・流通業務等への計画的な土地利用転換を推進します。

2-6 防災・生活環境その他特記事項

- 市街地の浸水防止・雨水対策のための幹線のある各排水区において公共下水道（雨水）を整備します。
- 人口の集中している市街地において、公共下水道（汚水）の整備を促進します。
- 木津のし尿処理施設、火葬場については、施設の適正な維持管理に努めるとともに旧焼却場等を含め今後の施設整備の方向性について検討を進めます。

撫養町川西地区



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業復、第228号）